

本件は、大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ、吹田日刊記者クラブに同時資料提供を行います。

報道関係各位

生きているミュージアム **NIFREL**

「ニフレル×装苑 生きものとアートにふれる展2018」を開催。 7月19日(木)9時よりプレスプレビュー、20時15分からはスペシャル公演を行います。

大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL (ニフレル)」では、2018年7月19日(木)から2019年1月6日(日)までの期間、特別展示「ニフレル×装苑 生きものとアートにふれる展2018」を開催します。本展示はファッション雑誌「装苑」とのコラボレーションにより開催し、世界で活躍する3組のアーティストが4つのゾーンを多種多様な作品で彩ります。

開催期間中のニフレルは、アーティストの感性と融合した、全く新しい展示空間へと生まれ変わります。



ニフレルでは、2016年に開業1周年を記念した「生きものとアートの出会い展」、2017年には「生きものとアートにふれる展2017」を開催しており、アーティストとのコラボレーションによる特別展示の開催は、今回が3回目です。今回は、ファッションからカルチャーまで多様な個性を発信しつづける雑誌「装苑」とのコラボレーションで開催します。ニフレルで暮らす生きものたちから受けたインスピレーションを元に「装苑」のセレクトした3組のアーティストたちが作品を制作。ニフレルの特徴である空間展示(インスタレーション)とフィットした、ニフレルならではの演出となっています。

【プレスプレビューのご案内】

7月19日(木)9時よりプレスプレビューを開催します。

また、同じく20時15分からは「仕立て屋のサーカス」によるスペシャル公演も開催します。

ご希望の方は下記までお問い合わせください。

NIFREL (ニフレル) PR・広報担当 田井、西前

TEL:06-6876-2204 FAX:06-6876-2235 MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp



【「ニフレル×装苑 生きものとアートにふれる展2018」開催概要】

《開催期間》2018年7月19日(木)～2019年1月6日(日)

《料 金》ニフレル入館料に含む

《場 所》館内7つのゾーンのうち4つのゾーン(いろにふれる、すがたにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる)にて、3組のアーティストによる作品を展示し、室内全体を演出します。

①「いろにふれる」×宇野亞喜良



展示イメージ(一部)。今回のための描き下し6点と過去の5点、合計11点が描かれます。

《展 示 場 所》1階「いろにふれる」

《アーティスト》宇野亞喜良 Aquirax Uno

《作品タイトル》「少女のいる風景」

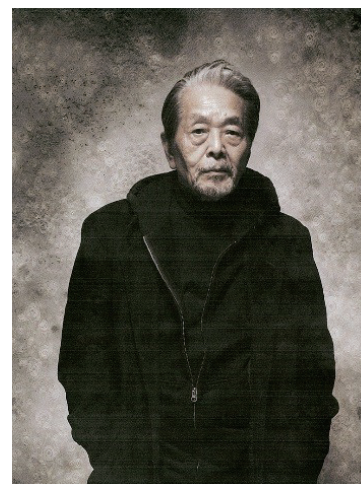
《展 示 内 容》全長約23mもの巨大なカーテンに、幻想的な少女やニフレルにいる生き物、架空の生き物が小窓から顔を出す作品合計11点が描かれ、また照明の変化によって見え隠れします。



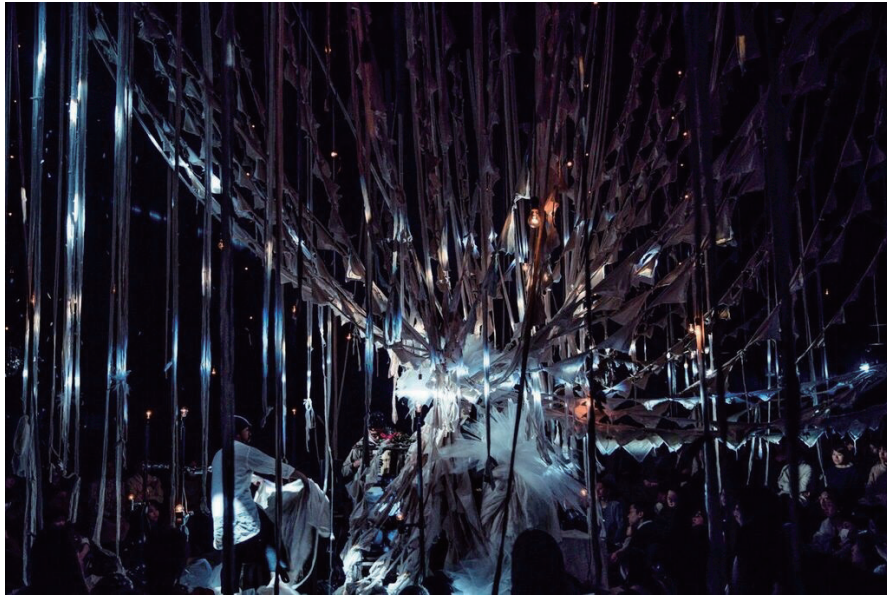
「いろにふれる」

《アーティストプロフィール》

1934年生まれ。主な著書に『宇野亞喜良の60年代ポスター集』『奥の横道』『宇野亞喜良クロニクル』などがあり、絵本に『あのこ』(今江祥智著)、『白猫亭』(寺山修司原作)などがある。紫綬褒章、旭日小綬章受章ほか受賞多数。2018年5月には新作個展「宇野亞喜良『ノスタルジア』展」を開催。2018年9月17日まで、東京の「印刷博物館P&Pギャラリー」で開催の『グラフィックトライアル2018 - Passion -』に参加する。



②「すがたにふれる」、「つながりにふれる」×仕立て屋のサーカス



「つながりにふれる」での展示イメージ。開催前日の7月18日より、公開制作にて空間を演出します。
また初日の7月19日20時15分からは一夜限りのスペシャル公演も開催します。

《展 示 場 所》1階「すがたにふれる」、2階「つながりにふれる」

《アーティスト》仕立て屋のサーカス circo de sastre

《作品タイトル》「跡」

《展 示 内 容》「すがたにふれる」にて、ニフレルの生きものや自然の風景をプリントした布で空間を飾り、また「つながりにふれる」では、見た人に命を支える樹木や寿(ことほぎ)をイメージしたオブジェを表現し、音と布と光による幻想的な空間を演出します。本特別展示の開始前日7月18日から20日までの3日間、公開制作によって行なわれアート空間が出来上がっていく過程も体感していただけます。さらに、7月19日には、本特別展示のオープニングを記念した「仕立て屋のサーカス 一夜限りのスペシャル公演 @ニフレル」を開催します。



「すがたにふれる」



「つながりにふれる」

《アーティストプロフィール》

二人の音楽家・曾我大穂とガンジー、服飾家・スズキタカユキ、照明家・渡辺敬之、制作プロジェクトチームで構成される現代サーカスグループ。2014年より活動開始。青山スパイラルホール、金沢21世紀美術館、また、スペイン、インドネシアでの公演を開催するなど、国内外で活動している。



③「うごきにふれる」×川島小鳥&金氏徹平



《展 示 場 所》2階「うごきにふれる」

《アーティスト》川島小鳥 (Kotori Kawashima) & 金氏徹平 (Teppei Kaneuji)

《作品タイトル》「カワモリオイア観察日記」

《展 示 内 容》女優の森川葵さんが演じる架空の生きもの「カワモリオイア」。食べたり、遊んだり、眠ったりといったその生態を、川島小鳥氏による写真や短い動画で、5台のモニターと3枚の大型タペストリー、3つのボードを使って伝えます。また金氏徹平氏が、モニターの周囲を飾ったり、覗き穴風にしたりと、まるで小さな遊園地のように演出します。



「うごきにふれる」

《アーティストプロフィール》

<川島小鳥>

写真家。1980年生まれ。主な作品に『BABY BABY』、『未来ちゃん』、『明星』、『ファーストアルバム』、私家版写真集『道』、谷川俊太郎との共著『おやすみ神たち』、台南ガイドブック『愛の台南』など。最新刊は浅田真央フォトエッセイ『また、この場所で』、『未来ちゃん』で第42回講談社出版文化賞写真賞、『明星』で第40回木村伊兵衛写真賞を受賞。2018年8月26日まで、「入江泰吉記念奈良市写真美術館」で写真展『つきのひかり あいのきざし』開催。



<金氏徹平>

1978年生まれ。日常の事物を収集し、コラージュ的手法を用いて作品を制作。彫刻、絵画、映像、写真、パフォーマンスなど表現形態は多岐にわたり、一貫して物質とイメージの関係を顕在化する造形システムの考案を探索。個展「金氏徹平のメルカトル・メンブレン」(2016)、「四角い液体、メタリックなメモリー」(2015)、「Towering Something」(2013)、「溶け出す都市、空白の森」(2009)など国内外での展覧会のほか、舞台美術や装丁も多数。自身の映像作品を舞台化した「TOWER」を京都国際舞台芸術祭(2017)や六本木アートナイト(2018)で発表。2018年は越後妻有アートトリエンナーレへの参加や東京、台北での個展を予定。



model:Aoi Morikawa / styling:Momomi Kanda / hair & make up:Minako Suzuki

brands:SIILON / JENNYFAX / LEINWANDE / PERVERZE / 69 / somnium / Lana Swans / kha:ki / VL BY VEE / bench RUMBLE RED / Milli Vintage / QFD / PUGMENT / NAIFE / onegaigoto / YAMASTORE

《生きているミュージアム『NIFREL』施設概要》



名 称	NIFREL (ニフレル) (館長：小畑 洋)
運 営 会 社	株式会社海遊館 (本社：大阪市港区、社長：三輪 年)
所 在 地	吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内ニフレル
営 業 時 間	10：00～20：00 最終入館は19：00
休 館 日	年中無休。但し、年に1回設備点検のための臨時休業あり。
施 設 内 容	7つのゾーン【いろにふれる、わざにふれる、すがたにふれる、WONDER MOMENTS、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる (生きもの約150種・約2000点)】 ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200㎡・112席)、スーベニアショップ (NIFREL×NIFREL)
入 館 料 金	大人 (16歳以上)・高校生 1,900円、小・中学生 1,000円、幼児 (3歳以上) 600円
交 通	大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分
駐 車 場	約4,100台 (EXPOCITY全体用駐車場)
構 造 規 模	S造 (一部SRC造、RC造) 3階建
建 築 面 積	約3,500㎡ (約1,060坪)
延 床 面 積	約7,200㎡ (約2,180坪)

- ※ 公式ホームページ <http://www.nifrel.jp>
- ※ ツイッター http://twitter.com/nifrel_official
- ※ Facebook <http://www.facebook.com/nifrel.jp>
- ※ インスタグラム http://www.instagram.com/NIFREL_OFFICIAL

